

「評価実施手引書（案）（平成18年度実施分）」の作成について

「評価実施手引書（平成17年度実施分）」からの主な変更点は以下のとおり

1 選択的評価基準A「研究活動の状況」の評価の実施に伴う変更

平成18年度実施分から選択的評価基準A「研究活動の状況」の評価を実施するため、当該基準に関係する箇所について、以下のとおり文言を整理した。

○「Ⅱ 評価の内容」 【関係箇所：P1】
選択的評価基準に係る記述について、大綱、基準の記述を踏まえるなど、文言を整理した。

○「3 選択的評価基準A、Bの自己評価結果の分析」 【関係箇所：P9】
選択的評価基準の自己評価結果の分析のプロセスについて、基準1～11の自己評価結果の分析との整合性を取り、各事項が明確になるよう項立てを行った。
また、対象大学から提出された「研究活動実績票」を用いて自己評価結果の分析を行うこととする記述を追加した。
さらに、「目的の達成状況の判断」の記述について、判断の際の考え方など文言を整理した。

○「3 訪問調査で配慮すべき事項」 【関係箇所：P14】
訪問調査において、配慮すべき事項について追加した。

2 その他

○その他全体を通じ、大綱、基準を踏まえるなど、文言の整理を行った。